

第 16 回香取市地域公共交通協議会会議録

会議の名称	第 16 回香取市地域公共交通協議会	
開催日時	平成 27 年 1 月 26 日 (月) 14 時 05 分から 15 時 40 分まで	
開催場所	香取市役所 (本庁) 7 階全員協議会室	
議長氏名	香取市地域公共交通協議会会長 軸丸真二	
出席者氏名	別紙 1 のとおり	
欠席者氏名	別紙 1 のとおり	
事務局氏名	別紙 2 のとおり	
会議事項	1 議題 (1) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について (2) バス乗降調査及びアンケート調査について	2 会議結果 全議案原案のとおり可決
会議の経過	別添 (会議経過) のとおり	
会議資料	① 「香取市地域公共交通協議会 (第 16 回協議会資料)」 ② 「小見川循環バス (西ルート) 時刻表」 ③ 「香取市乗合タクシーのご案内」 ④ 「香取市バス路線図」 ⑤ 「乗降調査及びアンケート調査 結果報告書」	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
平成 27 年 3 月 9 日	議長 軸丸 真二	

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事 務 局	<p>1 開会</p> <p>【配布資料の確認】 【新任委員の紹介と委嘱状の交付】</p>
軸 丸 会 長	<p>香取市副市長の軸丸でございます。</p> <p>本日は、お忙しい中、本協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、先ほどの事務局の説明のとおり、人事異動に伴いまして、北総自動車株式会社の金親委員とJR佐原駅の廣川委員には今回から新たに参加していただいております。お二人ともお忙しいところ、こころよくお引き受けいただきまして、厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、本協議会は平成20年度に設置されまして、本日が16回目ということになります。近年の大きな取り組みとしましては、国の補助事業を活用して、小見川地区で乗合タクシーの試験運行を開始するとともに、既存の循環バスのルートの一部変更・休止などの改編を行ったところでございます。</p> <p>本日の議題は2つほどございます。まず1番目は、その国の補助事業を活用して運行している小見川循環バスと乗合タクシーについて、昨年9月までで1事業年度の運行が終了しましたので、国へ提出する事業評価書をお示しし、その協議をさせていただきます。また、昨年度、本協議会が策定した計画に基づきまして、市内のタクシー業者さんが福祉タクシー車両の導入を行いましたので、その事業評価の協議をさせていただきます。2つ目は、例年行っているものですが、事業者様のご協力をいただき行っているバスの乗降調査について、結果が取りまとまりましたので、その報告をさせていただきます。</p> <p>皆様の忌憚りの無いご意見やご提案を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございました。それでは、これより議事に入らせていただきます。本協議会規約第7条第1項の規定により、会議の議長は会長となりますので、これより会議の進行を軸丸会長にお願いしたいと思います。</p> <p>では軸丸会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>3 議事 (1) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について</p> <p>はい、では円滑な議事の進行につきましてご協力の程、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは早速議事に入ります。議事の1、地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、まず事務局より説明をお願いします。</p>
議 長	

事務局	<p>【「1 事業評価とは」及び「2 評価の実施」のうち(1)確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持）について説明】</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。議事が2つあると申し上げました。タクシーのバリアフリーの案件もあるのですが、議事1が長いものですから、続きがあるのですがちょうどこの小見川の関係できりが良いのでここで一旦きらせていただきたいと思います。ただ今事務局から説明がございました件につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。</p>
鈴木委員	<p>老人クラブをやっている鈴木と申しますが、今、小見川の西地区ですか、バスの状況について説明を伺いましたが、年々減少しているということなのですが、私ども小見川地区の住民として色々聞いてみますと、本数がないと。だから、待っている時間が多すぎるから利用しないということなのですが、バスを見てみますと千葉交通も大変なようで空気を運んでいるような状態ですね。こんなもったいないことを何でやっているのかと考えますが、その点、バスをもう少し小型化して、例えば15人乗りくらいの車でハイブリッドにして本数を増やすと。運転手は女性の運転手が今たくさんいます。定年退職した運転手で、心筋梗塞で事故を起こすのではないのかなという不安も良く聞いています。バスの運転手はみんな年をとって白髪の運転手が多いと。こういう状態では乗る人も安心できないという噂話もあります。その点、今、女性の運転手が増えてますので、若い職場を作ってやりながらそういうのを活用して。香取市がパートの時間帯が一番安い賃金ですね。成田、神栖、香取と3つ聞いて歩きますと、一番安い地域です。それを神栖、成田なみの料金で働けるようにしてやれば、何も大きいバスで空気を運んでいるようなことなく本数をもっと増やしていただけたらと思っているのですが。その点、いかがでしょうか副市長さん。</p>
議長	<p>私、議長ですので、事務局よろしいですか、すみません。</p>
事務局	<p>はい。色々なご意見をバスの運行につきましてには頂戴しているところがございます。今おっしゃっていただいたご意見につきまして頂戴はしておったところなのですが、バスの1つ目、小型化につきましては、やはりバス事業者さんに運行を委託するという形態の中だと、やはり大きく占めるのは運転手さんの人件費の部分でございます。そういう実態もありましてバスのサイズの小型化は多少の経費の節約になるのかなというところはあるのですが、やはり運転手さんも含めた人件費の部分が相当占めている実態を考えますと、少し難しいのかなと言うことで今まで対応してきたところがございます。</p> <p>それから便数の増加につきましても、こちらは利用者数の傾向を見ながら対応すべきところなのだと思いますけれども、実態として今のルートの設定のままで、はたして便数を増やしたただけで使っていただけるものなのかなというところか</p>

<p>鈴木委員</p>	<p>ら考えていかなければいけないのかなと思っておりまして、それも含めて今後の検討課題なのかなと捉えております。まとまりませんが回答は以上になります。</p> <p>業者さんは千葉交通で一本化しているようですが、私もトラックの運送とか、観光バスとか、土建のトラックの事業だとかも青ナンバーでやっているのですが、今までの路線を持ったバス会社というのは、やっぱり車を時代に合わせることが出来ないですね。もう弱体化してるんですね。人を乗せる業者というのは。友達が成田空港でバスを150台も持ってやってるんですが、半分遊んでいます。なぜかと言うと運転手がない。安いからこない。車が入れ替えできない。今、セダンの車では乗合なんて誰も乗る人ありません。東京から来た乗合のワゴン車にみんなお客をとられてしまっていてできないと。そういうのを研究して、こういう路線の奴もやっていく必要があるのではないかと言うのが私の意見なんです。やっぱりセダンの車へ乗合をやれと言ったって、後ろの席が1列3人、前の運転手の隣に乗っても1人しか乗れないという、こういう車で乗合をやれと言ったって、やっぱり人に迷惑をかけたらいけないとか、あの人と乗合ではとか、なってしまう。ワゴン車なら3列4列ある車だから乗合でもできると。成田空港で見ていると、東京から来た福祉型のハイブリッドの車にみんなお客をとられていってしまっていて、セダンのバス、可哀そうなようです。乗る人がいないような状態ですから、そこらを考える必要があるのではと私は思うんです。国から補助金がもらえるから形式でやれば良いというのではないと思うんですよ。だから乗り手がないというのは本数が足りないから乗り手がない、乗り手がないなら小さなバスで倍走らせた方が良いのではないかという考えなんです。今までの考え方ともう世の中が変わってきてるんですね。もう、セダンに乗っている人って少ないです。みんなワゴン車になっている、軽自動車に替えたりしている、そういうのを見習って対応していく必要があるのではないかと思うんです。その点、ちょっと聞かせていただきたいと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、ありがとうございます。バスの形の小型化というお話と乗合タクシーの車両タイプのお話も少々入っていたのかなと思うのですが、今の乗合タクシーについてはセダン2台で運行しているところなのですが、乗合率についてはある程度確保できている運行になっているのですが、前回のこの公共交通会議の中でも近隣の市町でワゴン車タイプですとか、そういった形での運行もされている例をご意見としていただいたところだと思います。運転手さんを入れなくて4人乗れるところ、4人乗りきれずに次の便に回っていただいたというような実態はないのですが、今のセダン2台での運用自体はキツキツではなく、ある程度余裕を持った運行が出来ているのかなという実態がございました。我々の方でも春先に利用者さんにアンケートをとらせていただいた中で、今おっしゃっていただいた、例えば、隣同士で顔見知りでないお客同士が乗り合わせることで自体が使いづらいのでは</p>

<p>議 長</p>	<p>ないかとか、そういった意見も自由意見の記載の中ではそんなに言い切られなかったと思うのですけれども、今そういったご意見もいただきましたので、今後参考にさせていただきながら、運行の方もこれから試験運行を継続していきますので、また皆さんのご意見の中でそういったご意見があれば参考にさせていただいて運行していきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>その他、ございますでしょうか。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>千葉県交通計画課の轟と申します。よろしくお願ひします。本日は伊藤委員の代理で参りました。乗合タクシーについて教えていただきたいのですけれども、今、乗合率がどれくらいかと言うのをお聞きしたいのと、年間利用者が5,031人ということですが、実際の利用されている人の人数を教えてくださいたいのですが。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>はい。お答えします。まず乗合率なのですが、ただ今セダン型のタクシー車両2台で運行しておりまして、1日9便で244日走っておりまして、最大ですと4,392便動くことになるのですが、実績としましては71.4%の稼働率になっておりまして3,136稼働しております。その3,136の内、1人で乗っていた場合、2人で乗っていた場合、3人で乗っていた場合、4人で乗っていた場合、とあるのですが、2人以上で乗っていた件数と言うのがその1,333/3,136ございまして、2人以上乗られていた率、乗合率としましては42.51%ということになります。</p> <p>次に実利用者数ということなのですが、先ほど述べで5,031ということでご説明させていただきましたが、実人数にしますと3,157ということになります。</p>
<p>轟 委 員 (伊藤委員代理)</p>	<p>3,157人。1人、1回か2回しか乗っていないということですか？</p>
<p>事 務 局</p>	<p>月別にカウントした数字を積み上げておりまして、同じ方がその日のうちに複数回乗車した場合2回カウントしてしまいますので、それを1人としてカウントしまして、それを積み上げていった場合、3,157という数字になるのですが・・・。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>延べではなくて実際の利用された人数と言うことですが、手元にデータがなくて申し訳ありません。前回、利用者アンケートの結果をご報告させていただいた中で、登録はしたけれども、利用したか、していないのかという問いをしておりますが・・・。確認が取れ次第ご報告したいと思っております。即答できなくて申し訳ありません。</p>
<p>議 長 金 親 委 員</p>	<p>その他、ございますでしょうか。</p> <p>北総自動車でございます。参考までにお聞きしたいのですが、小見川地区で乗合タクシーを実施したことによりまして、市が交付しております福祉タクシー券の利用状況はどうなっ</p>

事務局	<p>ているのか、参考までにお聞きしたいのですが。</p> <p>こちらについても、うちの方で乗合タクシーの運行を開始したのが平成25年の10月からでございますが、そちら以降の福祉タクシーの利用実態も今手元にデータがございませんので後ほどご報告させていただきたいと思っております。</p>
泰間副会長	<p>千葉の運輸支局です。利用促進ということで1つ、事例の紹介と言いますか、こういうのはどうかということなのですが、いわゆる乗合タクシーとかコミバスに乗って、乗継をして他の路線バスに乗ったり、あるいはJRに乗って他の場所に行かれる方。利用者を見るとデマンドだと病院とかが多いと言われますが、利用されるということは、やはりどのようなにして自分が利用していけば良いだろうかという簡単なプランのようなものを事務局の方で手作りでも良いのですが作っていただいて、それを利用者の方に配る。例えば何時に出て、JRだったら何時ごろの電車がございませぬ。例えば隣の病院であれば、こんな病院に行ったらこれくらい経費がかかりますというようなモデル的なものを示してあげるとか、そういうものをやると利用が少し伸びたというような自治体さんのご意見もありましたので、参考ですがデマンドでただ行って帰って来るだけではなくて、そういった目的地に利用しやすいようなものを提示するのも利用促進の一つの方法かなと思っておりますので、参考にさせていただけたらと思っております。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。是非参考にさせていただきたいと思っております。</p>
議長	<p>その他、いかがでしょうか。</p>
土屋委員	<p>小見川循環バスの利用の関係で、減少の要因が小見川高校の学生さんの減少ということで書かれているのですが、これを見ますと恒常的にずっと減少しているということで、小見川循環バスの考察の中に、高校生の利用の割合が大きく天候とか部活動とかテスト等、突発的な要因で減少と書いてあるのですが、恒常的にずっと減少しているの他に何か原因があるのではないかという感じが個人的にはするのですが、もし何か事務局で把握しておりましたら教えていただければと思うのですが。テストとか部活動とかではなくて、何か要因があるのかなと。</p>
事務局	<p>はい、正直なところ、うちの方でそれ以外の要因が思い至りませぬで、もうちょっと細かく学校にヒアリングをしてみるとか、現場の実態を聞いてみるとわかってくる部分もあるかと思っておりますが・・・。生徒数の減とか。それ以外の要因についてはそこまで確認できておりませぬ</p>
松川委員	<p>ちょっといいですか。市民代表の松川と申しますけれども、先ほどの事務局の話でちょっと気になったのですが福祉タクシー券の件なのですけれども、前回もこの会議に出た時に事</p>

	<p>務局で返答できなかつたんですよね。今回もまた福祉タクシーの件については把握してないと。これからは福祉タクシーもこの会議には欠かせない重要な話になってくると思うのですね。香取市は年間 1,000 人ずつ減っている、10 年後には 10,000 人も減ってしまうような香取市の状態なんですよ。ここにきて先ほども出ましたけれども、大型のバスを段々小型化にしていった方が良いのではないかというようなことを踏まえれば、当然福祉タクシー券ということ念頭に入れてこの会議がなっていかなければならないのに、前回も課が違うから把握していないと、今回も福祉タクシー券については把握していないと。そのようなことでは事務局の怠慢と思うのですね。そのことはこれからこの会議で一緒にして話し合いしていかないと、これから先、5 年先、10 年先にどうなっていくのか、こんな大きなバスをいつまでもいつまでも動かしておけるのか、という会議にはなっていないと思うので。その点、注意していただきたいと思うのですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。前回もご指摘いただいている点で申し訳ありませんでした。我々で一括して一つの課でこの問題に対応するのではなくて、福祉の関係課ももちろんございますので関係課もできれば一緒に同席する形で是非議論していきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>あのね、事務局さ。近くの利根町、ちょっと見物してきてくださいよ。今、こちらの方が言うとおりに、空気運んでいうバスいつまでもやっても本数ないから利用者がいないということですから、それを改善しない限りは段々段々不便で人が減ってしまいます。みんな住み良いところへ行ってしまふ。離婚して未亡人になると神栖に行けば 3 年たったら 13 万もらえるんだよね。働かなくても食っていけるし、みんな移住して行ってしまふ。だから銚子も年間 700 人、香取市も 800 人くらい減ってるでしょ。不便だから減っていくんです。こんな不便な香取市になってしまったってこと。だから乗り物も従来どおりの考えでなく、新しい形でやっついていかないと、150 台も持っても東京の人に新型のハイブリッドのワゴン車にみんなお客をとられちゃって、セダンの乗る人がないという。力の競争だね。今の社会、力のないところが古い形式でやっていたでは何時になっても、この会議を何回開いても不便さは解消しないと思う。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ちょっと私、議長の立場もございますが今の点、すみません。事務局は 1 つの課でございますが、やはり香取市として開いていますので、そこはちょっと前回の指摘事項でもありますので、福祉タクシーの情報を整理して、本日すぐに間に合わないと思っておりますが、後日委員の方に情報を整理して示すように、市民福祉部も協力して整理してください。お願いします。</p> <p>その他にございますでしょうか。 色々、議論は尽きないところでございますが、協議の事項といたしましては小見川の乗合タクシー、それと循環バスに</p>

	<p>つきまして、運輸局に 12 ページにある事業評価を提出したいということでございます。</p> <p>ご質問も尽きないかと思いますが、この国に対して提出する事業評価につきましては 12 ページの案にさせていただくということでよろしいでしょうか。その点につきましては何かご異議ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい。今日この後、もう一点がバリアフリーの関係の車両、それから議事の 2 としては報告事項としてアンケート調査でございます。また、アンケート調査はバスは小見川のみならず香取市全域のアンケート調査でございますので、全般的なご指摘をまた議事の 2 の方で賜れば幸いですので、大変恐縮ですが議事の 1 の事業評価、小見川の循環バス、それから乗合タクシーにつきましては、12 ページの形で運輸局に提出するというご賛同いただけたということで次に進みたいと思います。</p> <p>それでは続いて議事 1 の残りのバリアフリーにつきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 議長</p>	<p>【「2 評価の実施」のうち(2)バリア解消促進等事業（バリアフリー化設備等整備）について説明】】</p> <p>はい、ただ今、事務局からバリア解消促進等事業の事業評価、具体的には府馬タクシーさんの車両の配備を行ったものの説明がございました。15 ページあるような事業の内容に対し、国には 16 ページのような形で事業評価を提出したいということでございます。本件につきましてご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。何かございますでしょうか。</p> <p>特にこの件につきましてはございませんでしょうか。</p> <p>では確認させていただきます。本件、バリア解消促進等事業の事業評価について、16 ページのような形で事業評価を提出するというごよろしいでしょうか。ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>はい。特段無いようですので異議なしと確認されたということで進めたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>議長</p>	<p>(2) バス乗降調査及びアンケート調査について</p> <p>それでは続きまして、議事の 1 に随分長く時間を費やしましたが議事の 2 に移りたいと思います。今度は報告事項でございまして、昨年 5 月に実施いたしましたバス乗降調査及びアンケート調査につきまして報告でございます。では、事務局からお願いします。</p>

事務局 議長	<p>【(2)バス乗降調査及びアンケート調査について説明】</p>
議 長	<p>はい、ありがとうございました。ではこの2点目の案件の報告につきましてご質問等ございましたらお願いいたします。何かございますでしょうか。</p> <p>こういう意見があるとか、ご質問でも結構ですし、あるいは事業者の方で補足することがございましたら・・・。</p>
廣川委員	<p>J R 佐原駅の廣川と申します。よろしく申し上げます。 バスをご利用されるお客様からのご意見として鉄道との接続の悪い時間帯があるというお話を受けて、当社は3月14日にダイヤ改正を行いますので、その中で佐原駅で時間が変わるもの、あるいは小見川ですとか近辺駅で時間が変わるものがありますので、その情報をできる可能な範囲でできる限り広くお知らせすべきだと認識したところでございます。その際にどちらの方に状況提供させていただくのが一番良いのかなというところで、香取市さんには情報提供させていただくと思っておりますけれども、その辺をお聞かせ願えたらと思っております。</p>
事務局	<p>はい。市の方で運行を直接やっているもの以外に千葉交通さんを始め路線バスを運行していただいている事業者さんがいらっしゃると思いますので、そちらに直接ご提供いただけるのであれば・・・。具体的には後ほどよろしいでしょうか。</p>
廣川委員	<p>そうですね。ありがとうございました。</p>
議 長	<p>その他にいかがでしょうか。特にございませんでしょうか。</p>
土屋委員	<p>それ以外でもよろしいですか。要望という形でもよろしいでしょうか。</p>
議 長	<p>はい、どうぞ。</p>
土屋委員	<p>タクシー協会の土屋と申します。よろしく申し上げます。 先ほど、府馬タクシーの福祉タクシー導入につきまして協議会でご承認賜りまして本当にありがとうございました。実はこの中で今後公共交通会議といたしまして福祉タクシー車両の増加を図っていくということでご承認賜ったところでございますけれども、このタクシーが一般のタクシー車両に比べて極めて車両価格が高いということで、タクシー事業者だけで車を増やすことが難しいという状況でございます。そのために国の方から一定額、車両本体価格の1/3、上限で60万円、もしくは予算の範囲ということで、本来ならば60万円もらえるところ30万円ちょっとしかもらえなかったりということで、そういう形で今やっているのをございますけれども、もし可能であればあくまで要望でございますけれども、今後、香取市としてこういった健常者も障害者も一緒に利用できるようなユニバーサルデザインタクシーを増やしていた</p>

議 長	<p>だけるといふことであらば、もしできましたら国の補助の他に自治体の方からも多少なりとも補助していただけたらタクシー事業者も大変やりやすいといふこととございますので、その辺りをこの協議会の中とご検討いただけたら大変ありがたいと思っております。以上とございます。よろしくお願ひします。</p> <p>ありがとうございます。ご要望といふことにさせていだいてよろしいですか。</p>
土 屋 委 員	はい。
議 長	<p>その他、アンケート関係につきてご質問とご意見等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>はい。事務局でどういふ傾向のご意見が多かつたですとか把握されているようですが、もちろん当然ですがアンケートをとつたわけですからやりっぱなしではなくて、そこで上がつてきた利用者の方からのご意見、あるいは利用者だけでなく事業者の運転手の方からもご意見をいただいておりますので、そこにつきては良く改善できる点がないか検証していただいて、今後と活かしていただけたらと思ひますのでよろしくお願ひします。</p> <p>それでは特に皆さん、最後に何かございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
議 長	では最後に、事務局からお願ひいたします。
事 務 局	<p>はい。それでは慎重なご審議、ありがとうございます。事務局からは特にございませませんが、本日説明をさせていだきました内容につきて、後日でも結構ですので、お気づきの点とございましたら用紙をお配りしておりますFAXでも結構です、事務局の方へお送りいただければと思ひます。それから会議中にご質問いただきまして、お答えできなかった内容につきては、委員の皆様方に後日、郵送を持って回答させていだきたいと思ひます。以上とございます。</p>
議 長	<p>以上で、議事が終了いたしました。これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。皆様には、ご協力頂きまして心より感謝申し上げます。ありがとうございます。</p>
事 務 局	<p>4 閉会</p> <p>これをもちまして、第16回香取市地域公共交通協議会を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございます。</p>

会議の名称 第16回香取市地域公共交通協議会
開 催 日 平成27年1月26日(月)

出欠席者名簿

委員氏名		出欠
会長	軸丸 真二	出席
副会長	泰間 隆	出席
委員	伊藤 昌央	出席
委員	花崎 幸一	出席
委員	土屋 信乃夫	出席
委員	金親 康祐	出席
委員	藤田 信一	出席
委員	鵜澤 尚夫	出席
委員	橋本 定廣	出席
委員	角谷 真司	出席
委員	廣川 勝俊	出席
委員	飯田 謙二	欠席
委員	岩船 保	出席
委員	山口 周一	欠席
委員	松川 忠史	出席

委員氏名		出欠
委員	八角 和爾	出席
委員	林 浩美	出席
委員	本宮 敏雄	出席
委員	石川 一美	欠席
委員	石川 義行	出席
委員	鈴木 喜満	出席
関係職員	吉田 玄	出席
関係職員	篠塚 寿	出席
関係職員	澁谷 武男	出席
関係職員	大堀 常昭	出席
関係職員	林 高志	出席
関係職員	伊藤 雅啓	出席
関係職員	石毛 義則	出席
関係職員	平野 安敏	欠席

出席 25人 ・ 欠席 4人

香取市地域公共交通協議会 委員名簿

(平成27年1月26日現在)

No.	役割	氏名	所属団体及び役職名
1	会長	軸丸 真二	香取市副市長
2	副会長	泰間 隆	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局首席運輸企画専門官
3	委員	伊藤 昌央	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班長
4	委員	花崎 幸一	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事
5	委員	土屋 信乃夫	一般社団法人千葉県タクシー協会 専務理事
6	委員	金親 康祐	北総自動車株式会社 代表取締役
7	委員	藤田 信一	株式会社千葉交タクシー 常務取締役
8	委員	鵜澤 尚夫	千葉交通株式会社 常務取締役
9	委員	橋本 定廣	関鉄観光バス株式会社 代表取締役
10	委員	角谷 真司	ジェイアールバス関東株式会社 八日市場支店長
11	委員	廣川 勝俊	東日本旅客鉄道株式会社 佐原駅 駅長
12	委員	飯田 謙二	千葉交通労働組合 書記長
13	委員	岩船 保	千葉県香取土木事務所 所長
14	委員	山口 周一	香取警察署 交通課長
15	委員	松川 忠史	市民（佐原地区）
16	委員	八角 和爾	市民（小見川地区）
17	委員	林 浩美	市民（山田地区）
18	委員	本宮 敏雄	市民（栗源地区）
19	委員	石川 一美	香取市社会福祉協議会 事務局長
20	委員	石川 義行	福田線バス路線をまもる会 会長
21	委員	鈴木 喜満	香取市高齢者クラブ連合会 会長
1	関係職員	吉田 玄	総務企画部長
2	関係職員	篠塚 寿	市民福祉部長
3	関係職員	澁谷 武男	経済環境部長
4	関係職員	大堀 常昭	建設水道部長
5	関係職員	林 高志	教育部長
6	関係職員	伊藤 雅啓	小見川支所長
7	関係職員	石毛 義則	山田支所長
8	関係職員	平野 安敏	栗源支所長
1	事務局	伊藤 勝弘	総務企画部企画政策課長
2	事務局	本宮 茂幸	総務企画部企画政策課企画調整班 班長
3	事務局	石毛 貴光	総務企画部企画政策課企画調整班 主査
4	事務局	上野 太一郎	総務企画部企画政策課政策班 主任主事